



発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス4月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明

http://www.centergai2.com E-mail:centergai2@nifty.com



蔵式典に御参加頂
でデートされたこと、そのデートさ
で大変嬉しいお話
作品がストリート
ですね。2丁目を
けるようになりま
★**圧巻 森陶岳**
上記の展覧会は今
た展覧会です。

★ストリートミュージアムにさらなる仲間が！

4月2日(土)に私達の街のストリートミュージアムに新たな仲間が増えました。



今回の作品は磁器という素材と出会い、大胆な作品を国内のみならず、海外でも数多く発表されている陶芸家の加藤 委 (つぶさ) 先生の作品「神戸サンカクノココロ」です。神戸児童養護施設の皆様や「夢・未来号」で大変お世話になっている ANA の方々、また大変お忙しい中を久元神戸市長、加藤先生にも収めました。先生のスピーチの中で御自身が 20 歳過ぎの頃、神戸と、その時のレストランの方の対応が素晴らしく心に残ったこれたお相手が今の奥様であること等、神戸を愛する私達にとっ
て頂き感激いたしました。今回の先生の作品の収蔵でなんと 11
ミュージアムに収蔵されたこととなります。まさに継続は力なり
通行される方々が足を止めてご覧になっている光景をよく見か
した。街の魅力と楽しみがまた一つ増えました。

大窯店

年のお正月1月3日にNHKで新春早々放映され大きな話題となっ

その展覧会が2月2日から2月24日まで岡山シティミュージアムで開催されていました。そこでは



全長 85m、幅 6m、高さ 3m という未曾有の巨大な大窯を 107 日間焼き続け、その後の徐冷を経て窯出しまでに、実に 10 か月に及ぶ成果の作品群が展示されてい
ました。窯造り・窯詰めまでの作品制作を含め、流れ去ったその途方も
無い苦闘の時間を想う時、言葉もありません。作者がかつて 1980 年に相生
で最初の 46m の大窯で焼成した時には「再現古備前」と称されましたが、「古
備前を超えて」と標榜された今回の快挙に甘んじる事なく、一里塚として次
を見据えた姿勢に「仕事」という言葉の重さを感じました。今秋、9月3日～
10月23日まで瀬戸内市立美術館にて、今回の作品も含め、「森陶岳の全貌(仮)」

が開催されます。

瀬戸内市立博物館：Tel. 0869-34-3130 ホームページ www.city.setouchi.ig.jp



★アートスクエアで美遥ちゃん支援のフルート演奏

重い心臓病に苦しむ明石市の瓦本美遥ちゃん(3)を支援するフルートコンサ
ートが3月23日(水)、アートスクエアで行われました。美遥ちゃんは難病の
「拡張型心筋症」で、現在小児用補助人工心臓を装着しています。小児用補助
人工心臓は優れた機器ながらも、血栓の発生と無縁ではいられず、脳梗塞を防
ぐ必要からも、使用期間が最大で半年だと言われていて、この4月がその期限
になります。そのためアメリカでの心臓移植手術を受けるしか方法がなく、そ
の費用の約2億5千万円が必要になります。沖縄の松島良生君でのケースでも

多くの方々、そして神戸の街衆の協力もあり、見事に手術は成功し良生君は健康体になりました。美遙ちゃんにも素敵な笑顔を取り戻してほしいのです。この日のコンサートでは神戸女学院大学の学生さん4人の4回に亘る演奏と、「神戸国際フルートコンクールの発展を望む会」と「みはるちゃんを救う会」のメンバーの皆さんがビラを配り、募金集めを行い、久利理事長も2丁目を代表して募金を行いました。皆さんも是非この活動に御支援下さい！

連絡先：みはるちゃんを救う会事務局 〒673-0016 明石市松の内2丁目3-12ARビル302号

Tel&Fax 078-587-5918 (電話受付時間 10:00~15:00)

★沖縄で心からお祈りしてきました

第9回平和の礎刻銘者追悼清明祭が、4月9日公益財団法人沖縄協会の主催で沖縄南部、糸満市摩文仁の丘にある沖縄平和祈念堂で開催され、神戸を代表して久利計一 KOBE 三宮・ひと街創り協議会会長が参列されました。沖縄では旧暦3月の「清明の節」に祖先供養の行事として清明祭が行われます。先祖にお参りし、お供えを家族で頂き先祖をしのぶ祭ですが、戦争で一家が亡くなられた家族も多くあり、沖縄全体で追悼します。宗教や人種、国を超えて平和記念堂に寄り集い、全ての戦没者の追悼を行うと同時に、平和記念公園から全世界に平和を発信するものです。平和の礎（イシジ）には沖縄戦などで亡くなられた241,336名のお名前が刻銘されており、アメリカや大韓民国、朝鮮民主主義人民共和国、台湾などの人も含まれ、その刻銘者名簿は、平和祈念像の胎内に収められています。その中には沖縄県民保護に命がけで取り組んだ神戸出身の最後の官選知事島田叡さんのお名前もあります。また島田叡さんと行動を共にした当時の警察部長荒井退蔵さんの出身地栃木県からも荒井さんのご遺族が参列されました。久利会長は沖縄と神戸、三宮センター街との交流の原点でもある島田叡さんのご冥福をお祈りし、世界が平和であること、そして神戸と沖縄との繋がりが一層深まることを祈念しました。式典では、琉球手毬折鶴の奉納の後、浦添少女少女合唱団の献唱があり、澄み切った癒しの歌声が会堂に響き渡りました。



★梅舒適展と富岡鉄斎展”

兵庫県立美術館にて開催されている“梅舒適展”と“富岡鉄斎展”を久利理事長と共に鑑賞してきました。



梅舒適（稲田文一）は日本を代表する文人であり、生誕100周年を迎え中国文化、文芸に対する深い造詣を基に風韻漂う書、書画、篆刻を制作された方です。二丁目とは関わりがあり、センター街の活動に参加して頂いていた元日本赤十字社の酒居石荘先生の師匠でもあります。酒井さんは現在「書と篆刻入門塾」を開いております（詳細は下記）。近代文人画の巨匠、富岡鉄斎の生誕180周年を記念した作品展も同時に鑑賞してきました。京都に生まれ国学、儒学、仏教等を学び書画にも親しんだ鉄斎は幕末の動乱期から明治維新まで89歳の生涯に多くの作品を残しました。雄大で、のびやかな書画を是非ご覧ください。ゴールデンウィークにぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

梅書芸研究所 神戸教室 「書と篆刻入門塾」 講師 酒井石荘

場所：兵庫県立県民会館 時間：第2・第4金曜日 18時~20時 TEL：078-321-2131

ホームページ <http://hyogo-arts.or.jp/arts/kaibun.htm>

富岡鉄斎展 兵庫県立美術館にて 3月12日~5月8日

★編集後記

冒頭の記事で御紹介しましたが、第11作目となるストリートミュージアムの収蔵式典ですが、この式典の内容がなんとヤフーニュースに掲載されました。ストリートミュージアムの内容が充実していくにつれ、街だけではなく、全国からも次第に関心の目が注がれてきました。神戸と言えば「山と海、そしてファッションとグルメ」といった従前の評価だけではなく、「センター街にはストリートミュージアムがあるよ」となれば、これ程素敵な事はないですね。